

病院事業年度別収支状況・見込(28-32)

(南砺市民病院)

(単位：千円)

収 支		年 度	平成28年度	平成29年度			平成30年度			平成31年度	平成32年度	特記
			決算	改革プラン	1月月次	決算見込	改革プラン	当初予算	当初予算書	改革プラン	改革プラン	
南砺市 民 病 院	収益的収支	病院事業収益(a)	3,366,583	3,518,497	2,779,539	3,586,479	3,650,157	3,799,829	3,785,483	3,645,833	3,652,195	
		医業収益(b)	2,989,582	3,145,508	2,617,030	3,205,399	3,250,691	3,374,569	3,363,473	3,257,071	3,269,465	
		入院収益(c)	1,848,065	1,977,793	1,675,435	2,003,404	2,097,637	2,106,780	2,106,780	2,100,637	2,108,637	
		外来収益(d)	952,438	983,863	833,177	1,021,274	977,063	1,080,000	1,080,000	979,063	982,063	
		他会計繰入金(e)	37,991	37,991	0	37,991	37,991	37,991	37,991	37,991	37,991	
		その他	151,088	145,861	108,418	142,730	138,000	149,798	138,702	139,380	140,774	
		医業外収益	377,001	372,989	162,509	381,080	399,466	425,260	422,010	388,762	382,730	
		他会計繰入金(e)	330,136	329,588	150,901	338,234	348,752	381,375	381,375	335,737	329,505	
		その他	46,865	43,401	11,608	42,846	50,714	43,885	40,635	53,025	53,225	
		病院事業費用(f)	3,427,201	3,606,223	2,797,456	3,551,516	3,633,753	3,798,911	3,784,565	3,640,275	3,649,275	
		医業費用(g)	3,298,437	3,479,136	2,713,288	3,428,251	3,509,680	3,741,215	3,659,283	3,506,575	3,511,575	
		職員給与費(h)	2,137,747	2,257,414	1,724,669	2,246,846	2,279,988	2,364,942	2,364,942	2,285,460	2,285,460	
		材料費	412,192	454,289	374,728	425,973	464,738	505,297	467,868	465,202	465,202	
		経費	456,264	479,392	381,023	468,537	479,536	578,264	535,430	480,495	480,495	
		減価償却費(i)	275,279	267,623	221,384	267,623	265,000	266,177	266,177	255,000	260,000	
		資産減耗費	3,655	4,000	641	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	
		研究研修費	13,300	16,418	10,843	15,272	16,418	22,535	20,866	16,418	16,418	
		医業外費用	128,764	127,087	84,168	123,265	124,073	57,696	125,282	133,700	137,700	
	支払利息	56,681	52,634	26,846	52,634	48,373	48,416	48,416	48,000	45,000		
	その他	72,083	74,453	57,322	70,631	75,700	9,280	76,866	85,700	92,700		
	医業損益(b-g)	△ 308,855	△ 333,628	△ 96,258	△ 222,852	△ 258,989	△ 366,646	△ 295,810	△ 249,504	△ 242,110		
	減価償却費を除く医業損益(b-(g-i))	△ 33,576	△ 66,005	125,126	44,771	6,011	△ 100,469	△ 29,633	5,496	17,890		
	経常損益(a-f)	△ 60,618	△ 87,726	△ 17,917	34,963	16,404	918	918	5,558	2,920		
	特別利益											
	特別損失(o)			7,343	7,343							
純損益(a-f-o)	△ 60,618	△ 87,726	△ 25,260	27,620	16,404	918	918	5,558	2,920			
利益剰余金(累積欠損金)(j)	△ 1,653,429	△ 1,741,155	△ 1,678,689	△ 1,625,809	△ 1,724,751	△ 1,677,771	△ 1,740,237	△ 1,719,193	△ 1,716,273			
資本的収支	資本的収入	248,737	252,584	105,142	252,584	277,701	265,447	265,447	471,207	235,708		
	企業債	44,000	45,000	0	45,000	45,000	45,000	45,000	263,000	45,000		
	他会計出資金(1)	199,784	204,884	102,442	204,884	232,701	220,447	220,447	204,207	188,083		
	補助金	4,953	2,700	2,700	2,700				4,000	2,625		
	資本的支出	364,752	398,120	222,318	398,120	425,275	428,816	428,816	613,784	373,400		
	建設改良費	51,553	51,562	49,412	51,562	50,000	51,562	51,562	278,000	50,000		
	うち医療器械	49,991	50,000	48,110	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000		
	企業債償還金	313,199	346,558	172,906	346,558	375,275	377,254	377,254	335,784	323,400		
その他												

平成30年度予算要求 プラン対比概要 南砺市民病院

(単位：千円)

	プラン	予算	差額	変動内容
病院事業収益	3,650,157	3,785,483	135,326	
医業収益	3,250,691	3,363,473	112,782	
入院収益	2,097,637	2,106,780	9,143	病床稼働率は、プランでは79%で見ていたがH29年度の実績により85%で入院患者増で計上した。一方、来年度から地域包括ケア病棟入院料を2から1に変更することにより入院単価は増となるが、整形外科医が1名体制になることから、今年度の入院単価を参考にプランより入院単価を下げて計上した。
外来収益	977,063	1,080,000	102,937	今年度、化学療法 of 患者が増えてる。今年度の外来患者単価を参考に計上した。
医業外収益	399,466	422,010	22,544	
他会計繰入金	348,752	381,375	32,623	総合戦略事業（小児医療推進事業分）として新たに23,000千円繰り入れる。平成15年度借入の病院事業（増改築）の繰出基準が2分の1のところを3分の1で計上したため。
その他	50,714	40,635	△ 10,079	総合診療医の南砺家庭・地域医療センターの派遣が未確定のため減額した。

病院事業費用	3,633,753	3,784,565	150,812	
医業費用	3,509,680	3,659,283	149,603	
給与費	2,279,988	2,364,942	84,954	医師増、臨時職員増に合わせ人事院勧告増分を上乗せした。
経費	479,536	535,430	55,894	電気代・重油の単価アップにより増額計上した。委託料については給食・清掃委託における人件費アップにより増額計上とした。修繕については南棟修繕を計上した。来年度から富山大学附属病院地域医療支援サテライトセンター運営負担金が発生する。
純損失	16,404	918	△ 15,486	

資本的収支	277,701	265,447	△ 12,254	
他会計出資金	232,701	220,447	△ 12,254	平成15年度借入の病院事業（増改築）の繰出基準が2分の1のところを3分の2で計上したため。

資本的支出	425,275	428,816	3,541	
-------	---------	---------	-------	--

戦略事業：新小児医療推進事業

1 趣 旨

富山大学附属病院寄附講座の設置による同地域医療支援サテライトセンターの誘致（第1号）を通じて、南砺市民病院にこども医療センター（仮称）を設置など、南砺市内で乳幼児・子どもが安心して育てられるような診療体制の充実を図るもの。

<富山大学附属病院地域医療支援サテライトセンター>

目的：大学病院の医師が地域で不足する診療分野の診療を担うこと（常勤医2名の派遣）による地域医療の充実に貢献

地域医療を通して、将来に向けた地域包括ケアを担う医療人材の育成

大学と病院間での病院機能の分化を踏まえた患者の紹介・逆紹介の円滑化

期間：2年を予定（原則2年以上5年以下）

要件：協定書の締結

病院内に富山大学附属病院サテライトセンター（1室）の設置

経費：年間約2,300万円（大学寄附講座設置）

2 概要とスケジュール

（1）ステップ1（H30年4月）

- ・サテライトセンターの設置（新たな小児外科医と総合診療医の常勤医2名を予定）による南砺市民病院の診療体制の充実
- ・南砺市民病院にこども医療センター（仮称）を設置することによる乳幼児にもやさしい地域包括ケアの推進（公立南砺中央病院及び南砺家庭・地域医療センターの小児科医との連携・分担により、市内全域を網羅する乳幼児や子どもの診療や検診体制の拡充）

（2）ステップ2

- ・地域ニーズを踏まえ、①病児保育の推進、②へき地医療の推進などを寄附講座の主な内容として研究・協議の実施

※ 病児保育の推進については、別途、医療課・こども課・健康課・市民病院によるワーキンググループを設置・開催し、併せて検討を進める。

（3）ステップ3

- ・病児保育室の設置（又は開設）による子どもが安心して育てられる環境の充実
- ・総合病院と診療所を繋ぐへき地医療の充実

3 主なメリット

- ・市内での小児医療の充実と病院間等の連携により、乳幼児にもやさしい地域包括ケアの推進を図ることができる。
- ・専門医の意見を踏まえ、病児保育室の開設に向けた取組みの促進を図ることができる。
- ・大学との研究・協議により、効果的かつ効率的なへき地医療体制の構築に向けた取組みの促進を図ることができる。